

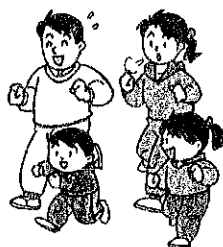
## 第7回 ショートレター受賞作品一覧

### 《最優秀賞》

タイトル 「姉 へ」

僕は知的障害の姉が恥ずかしかった。友達の前では知らんぷり。でも母が他界した中三の秋、姉は何も言わずに抱きしめてくれた。こんなにも優しい姉に気付かず僕は何を学んでいたのか後悔した。涙がぽとぽと落ちた。

**コメント** 母が他界して姉の優しさを知り、美しい兄弟愛が芽生えたことに人間味を感じる。



## 《 優 秀 賞 》

タイトル 「生まれてきてくれてありがとう」

僕と11才違いの弟が生まれました。弟が生まれてから毎日が楽しく弟が僕に幸せと笑顔を運んでくれます。僕にとって弟は幸せのかたまりです。僕の弟に生まれてきてくれてありがとう。僕は弟の笑顔がとっても大好きです。

## 《 優 秀 賞 》

タイトル 「認知症のおばあちゃんへ」

長い間、使ってきた頭だもんね。こころで少し休憩さ。俺のこと、忘れても、又、「はじめまして」から始めようね。あせることないさ。人生も旅も鈍行がいい。それがいいよ。

## 《佳作》

タイトル 「中学生の孫へ『見て見ぬふりをする』」

戦争中に近所のお寺へ集団疎開をしていた小学生が、うちのブドウ棚の青いブドウを食べていたが、祖母は「いま出て行ってはいけない。空腹なのだ。見て見ぬふりをしよう。こんな世の中にしてはいけないのだ」と言う。

## 《佳作》

タイトル 「結婚27年目の夫へ」

お茶を入れると、「ありがとう」。林檎をむくと、「ありがとう」。一番嬉しかった「ありがとう」は、「ボクと結婚してくれて、ありがとう」。「ありがとう」と言ってくれるあなたに、「ありがとう」。

## 《 佳作 》

タイトル 「妻 へ」

君の甲斐甲斐しい看護のおかげで父は八十歳の生涯を終えた。苦勞続きの人生だったけれど晩年は君のおかげで心安らかに過ごせたと思う。夫として自分の親の面倒を見てもらうほど嬉しいことはない。感謝しています。

## 《 佳作 》

タイトル 「中学生の孫へ『うちの敷居をまたげないものはない』」

私の小さい時、近所の朝鮮の女の子が遊びに来た時に、町内の顔役が「朝鮮人を家に入れなくてくれ」と言って来た。ところが祖母は「うちの敷居をまたげない人は居ない。そんなことを言いに敷居をまたぐな」と言った。

## 《 佳作 》

タイトル 「伯母（育ての母）へ」

あなたがいたから、人の優しさを知りました。あなたがいたから、生きる辛さを勇気に変えることができました。あなたがいたから、あなたがいたから、私は今幸せです。

## 《審査員特別賞》

タイトル 「中学生の孫へ『敵でも人間を殺してはいけない』」

戦争中に小学校の先生をしていた父が、かつての教え子が戦争に行く報告に来れば、必ず「敵でも人間を殺してはいけない。君は天皇陛下のために戦死をするな。お母さんのために生きて帰って来い」を送別の言葉にした。

## 《審査員特別賞》

タイトル 「親 父 へ」

家族のために身を粉にして働いてきた親父。「学歴がないからな」と時々つぶやいていた。出世することはなかったけれど、家族の誇りです。勲章にも縁のない親父だけれど、家族から心の勲章を贈ります。ありがとう。

## 《入賞》

タイトル 「弟 へ」

ダウン症の君の知恵は少し遅れぎみ。だが接する人を童心に返らせる力を持っている。神のような君は我が町に、いや地球に幸せをもたらしてくれると期待している。君は我が町の掛け替えのない宝物。健康に注意して。

## 《入賞》

タイトル 「私自身へ」

あなたの心の中に潜んでいませんか。差別と偏見。他人事だと逃げる気持ちはありませんか。逃げてはいけません。避けてはいけません。許してはいけません。あなた自身が人権宣言してみてくださいはどうか

## 《入賞》

タイトル 「娘の友人 Mちゃんへ」

そんなこと気にしてたん？あなたが施設出身やからって私の態度が変わるわけないやん。私が聞かせてほしいのは過去よりもあなたの未来。またカレーライス食べたくなったらいつでもおいで。自分の家やと思って。

## 《入賞》

タイトル 「娘 へ」

いいんだよ人と同じじゃなくてもいいんだよお前はお前であるがまま人が一度で飲み込むことをお前は十度めで飲み込むことがあってもいいんだよ納得しながら進めばいいどんな影にもいつか陽のあたる時が来るのだから

## 《入賞》

タイトル 「悩んでいる友人へ」

話があるなら私が聞くよ。味方だって言ったよね。ほら、あなたを助けてくれる人はいる。支えてくれる人はいる。認めてくれる人はいる。胸を張って前を見て。顔を上げてわらってみせて。幸せになる権利があるのだから。

## 《入賞》

タイトル 「ヘルパーの孫娘へ」

お前は此の頃ふさぎ込んでいる様だ、ヘルパーの仕事は大変だから、身体が思う様に動かない老人の、ツイ言った事を気にしているようだが、我慢しなさい、そんな時こそ余計優しく大事にして上げて下さい。

## 《入賞》

タイトル 「子ども」

生まれてきてくれた喜びも一生、そしてその時から始まる心配ごともしも一生。君が障害を抱えていても、だからと言っているあせることのない愛情。君はその愛情を一生の宝として享受し、胸を張って生き抜いていってね。

## 《入賞》

タイトル 「中学生の孫へ『勉強の遅れを笑ってはいけない』」

戦前の私の小学生の時にサーカスの女の子が転校して来た。4年生なのに国語の教科書の漢字が読めない。みんなは笑ったが、私はユックリと一緒に読んであげた。サーカスの練習で勉強が出来ないのを笑ってはいけない。



## 《入賞》

タイトル 「お父さんへ」

男だから、女だから。そんな言い方をしていませんか。あの人間の生まれは、あの家はこうだ。相手が嫌がる言い方をしていませんか。何気ない一言ですが、子どもたちは聞いています。見えています。

## 《入賞》

タイトル 「娘、のんちゃんへ」

車社会の現代の中、グチひとつこぼさず目の不自由なママといつも手をつなぎ歩いてくれるのんちゃん。どんな天気の日も共に話し、歌い、笑った毎日がとても大切な宝物であり、貴重な思い出です。本当にありがとう

## 《入選》

タイトル 「父 へ」

趣味もなく仕事が生きがいみたいに思っていてごめん。父になって家族を支え、父さんの大変さ、重さがわかったよ。趣味がないんじゃないくて家族のため、まっしぐらだったんだね。これから人生いっぱい楽しんでね。

## 《入選》

タイトル 「昔の同僚の友人へ」

君は最近、老人達の介護団体ボランティアに入り、活動しているんだってね。生き生きとして、ライフワークを見つけた様だね。一句贈呈。『今の世の浮き世の橋をまた渡る金や地位より愛が一番』元気でね。

## 《入選》

タイトル 「おばあちゃんへ」

ばあば、いつもごはんをつくってくれてありがとう。おかあさんがかいしゃにいてもばあばがいるからさみしくないです。いま、いちじくやしごといそがしいけどがんばってね。ぼくもおこられないようにします。

## 《 入 選 》

タイトル 「母 へ」

思春期。中卒である母さんを恥じ、容姿の悪い母さんを恥じ、母子家庭である事も責めたよね。「それで?」。ある時、いつもは黙ってる母さんが言ったっけ。更年期に向かう今言わせていただきます。「それでも大好きだよ。」

## 《 入 選 》

タイトル 「息 子 へ」

いつも買い物の時、重い荷物を持ってくれてありがとう。パパがいなくなった今、君は小さいけれどママの強い助け手です。淋しい時、悲しい時、君の笑顔にママは慰められ、励まされています。本当にありがとう。

## 《 入 選 》

タイトル 「彼」

もしも、辛い気持ちになったら黙ってないで私にも教えてね。一人よりも二人の方が、辛い壁を少しは楽に、乗り越えられそうでしょ。せっかく出会えたんだから、良い事も悪い事も、半分ずつにしましょ。

## 《 入 選 》

タイトル 「主 人 へ」

私は小さい時からアトピーがひどくて、汗をかいても乾燥しても痒くて、ついイライラして、あたってしまうのに、いつもそっと抱きしめてくれて有り難う。不思議とイライラが消えるんだよね。

## 《 入 選 》

タイトル 「息 子 へ」

生まれてくるときも一人、死ぬ時も一人。だから、生きている間は人にはやさしく、人を大切に、そして、一人の人間として自分と同じ人間として、自分にやさしくできるように、人にもやさしくしなさい。

## 《 入 選 》

タイトル 「スーパーで働く娘へ」

スーパーに買い物に行くと、理不尽なことで上司に罵倒されている娘の姿を目にする。「役職名っていうのは、どんな役割をする人かを表してるだけで、人間として偉いとか偉くないとかとは別問題だからな。頑張れ!」

## 《入選》

タイトル 「亡父への手紙「杖にもマナーを」」

近所の病院で老婦人が自分の杖にソックスを履かせていました。成る程、外の土砂を病院に持ち込まない・・・立派です。社会に生きる気配りですね。私も早速お父さんのあの杖用に作りました。皆が小さく頷きましたよ。

## 《入選》

タイトル 「未来の我が子」

悲しい思いをしませんように。辛い思いをしませんように。そして、誰かを苦しめるようなことのないように。人を人として尊重できる社会で育つことの叶うよう、まだ見ぬあなたのために私は努力しようと思うのです。

## 《入選》

タイトル 「子ども」

混雑で方向を見失った盲人に声を掛けるといきなり腕を掴まれて指示された通り案内しました。まさかの時はお互い様、お前たちも自分の身は自分で守ることも、時には他人の優しさ感謝し頼ることも大切です。

## 《入選》

タイトル 「父さんへ」

箱いっぱい夏野菜をありがとう。デコボコやら、くねくねやら、まん丸も丸太もあって、みんな伸び伸び育ったんだなって顔ですね。胡瓜の兄弟みたいな子供達と一緒に写真撮ったので、同封します。お元気で、またね。

## 《入選》

タイトル 「義父と義母へ」

お二人にお会いしてから8年。息子の彼女から嫁になっても何1つ変わることなく私を大切にしてくださる両親。毎日とっても感謝しています。主人を通じてお二人に出会えたことは私にとって一生の財産です。